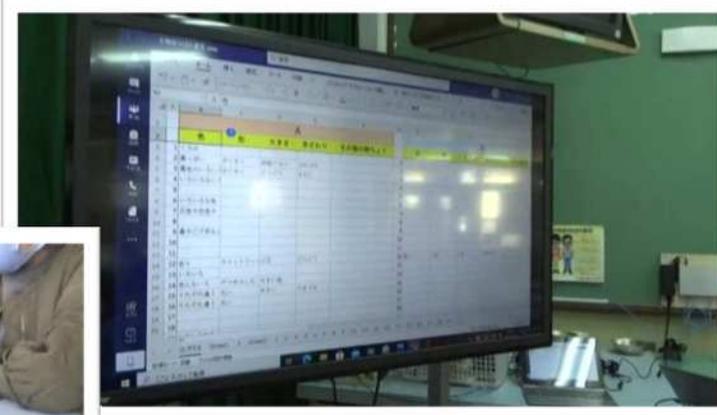


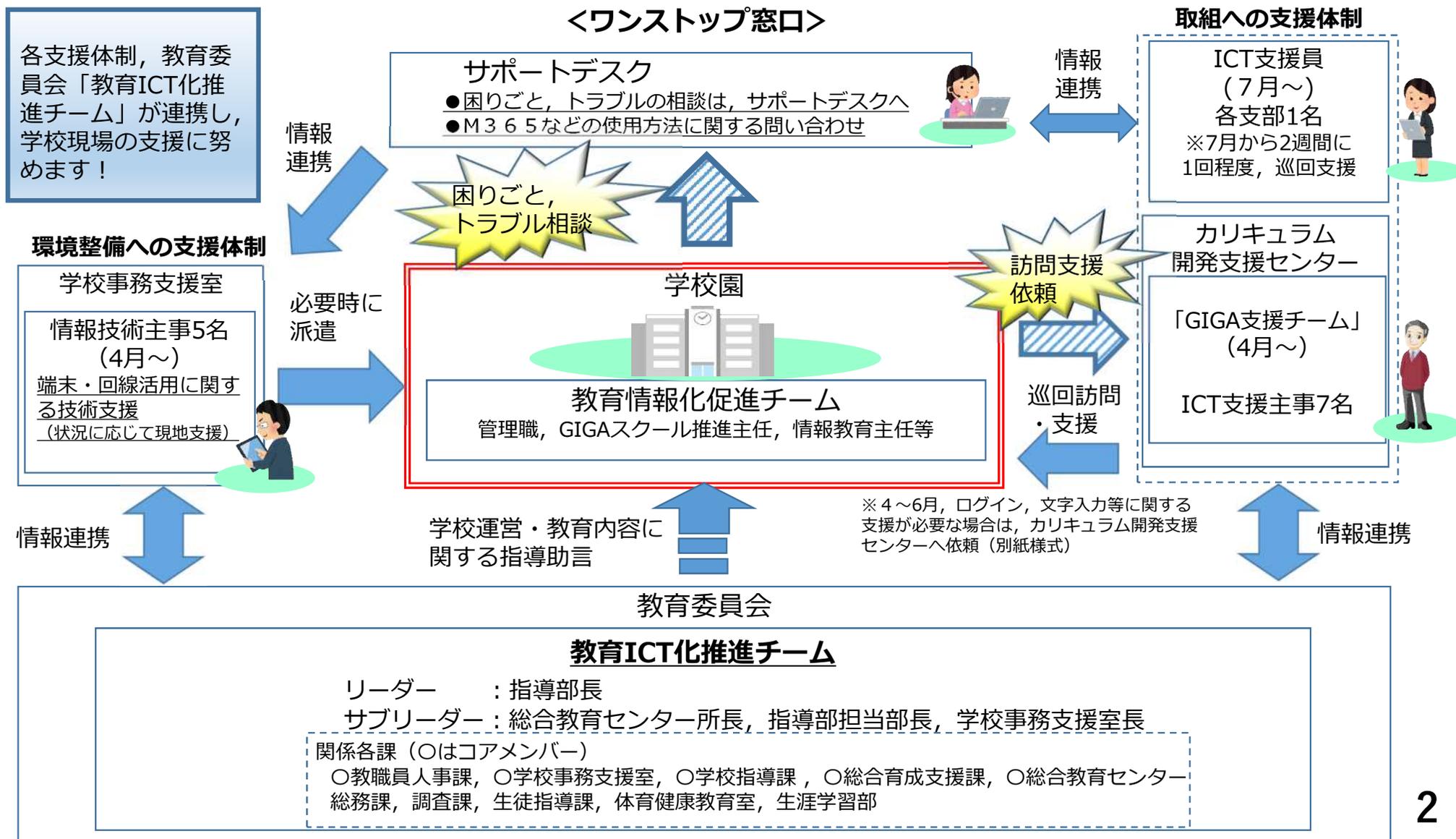
GIGAスクール構想に基づく教育展開について

～一人一台端末本格活用元年～



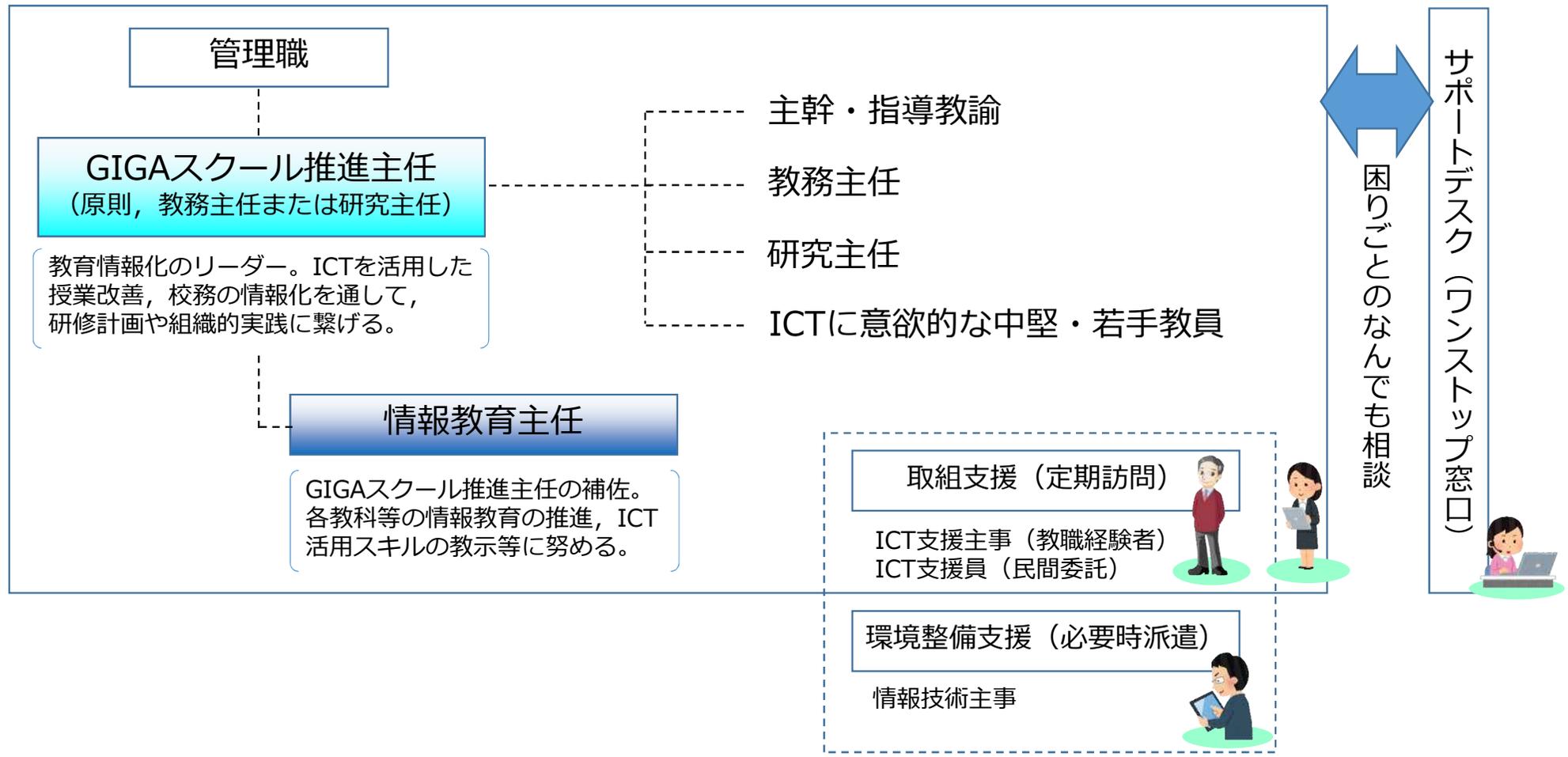
令和3年6月4日 京都市教育委員会

令和3年度 ICT活用における学校への支援体制の強化（4月～）

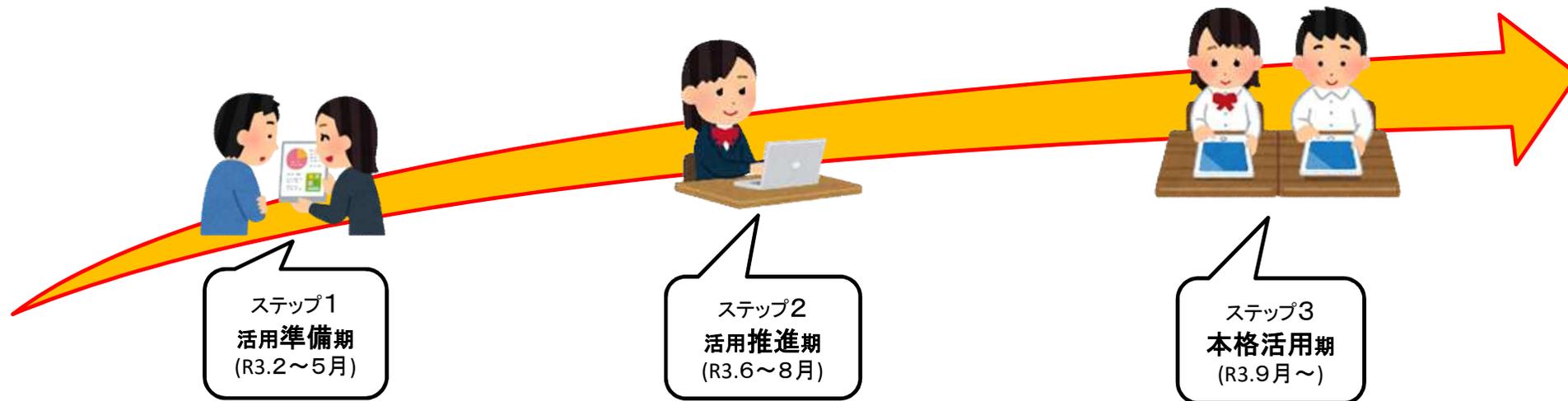


教育情報化促進チームを中心とした校内体制

教育情報化促進チーム

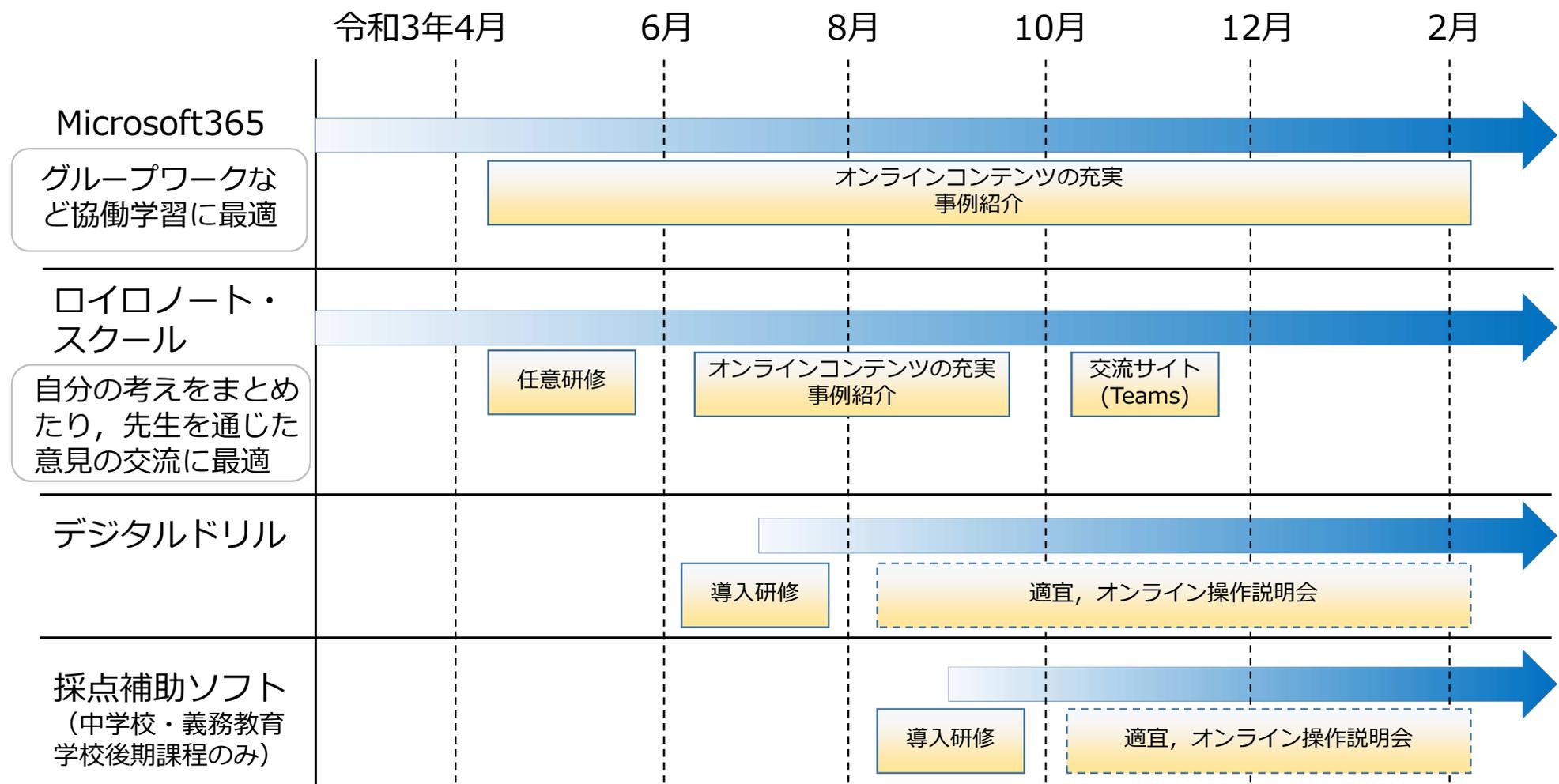


基本的な知識・技能の習得に向けたロードマップ



教職員	<ul style="list-style-type: none"> ・校内研修等で支援ソフトを活用した資料等の共有 ・支援ソフトを活用した授業の計画, 実践 ・クラウドを活用した教材・日程管理等の計画・実践 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報活用能力アドバイスシート, 関連単元配列表に基づく授業での活用場面・方法等を再確認・実践 ・協働学習, デジタル教科書の活用 ・校内で遠隔学習 (Zoom) 試行 ・不登校等の支援を要する児童生徒への支援 ・クラウドを通じた教材・日程管理 	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタルドリルの活用, グラフ・写真等を用いたレポート作成, 遠隔学習 (校内・他校交流) 等の実践 ・スタンダードに基づき, 授業で端末活用 (1単元・1回以上の活用場面) ・端末を活用した家庭学習の推進 ・欠席連絡, 学校だより等の端末配信
児童生徒	ログイン, 写真・動画撮影体験, 文字入力・操作体験, Web検索に慣れる等	調べ学習や協働学習 文字入力練習, デジタルドリル活用等	授業でGIGA端末本格活用 デジタルドリル活用 ※原則小5以上, GIGA端末持帰り

教育ソフト導入スケジュール, 説明会・研修会 (予定)



視点1

教科指導の効果を高めたり、
情報活用能力の育成を図ったり
するために、ICTを活用する視点

- 教科等又は教科等横断的な視点に立った資質・能力であり、**障害の有無や学校種を超えた共通の視点**。
- 各教科等の授業において、**他の児童生徒と同様に実施**。

視点2

障害による学習上又は生活上の
困難さを改善・克服するために、
ICTを活用する視点

- **自立活動**の視点であり、特別な支援が必要な児童生徒に特化した視点。



各教科及び自立活動の授業において、
個々の実態等に応じて実施。

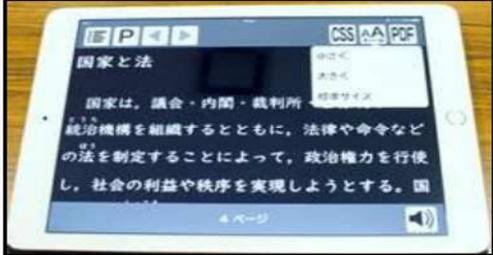
✓ 新特別支援学校学習指導要領では

各教科の指導計画の作成に当たっての配慮事項として、**各障害種ごとにコンピュータ等のICTの活用に関する規定**を示し、指導方法の工夫を行うことや、指導の効果を高めることを求めている。

障害に応じた活用例

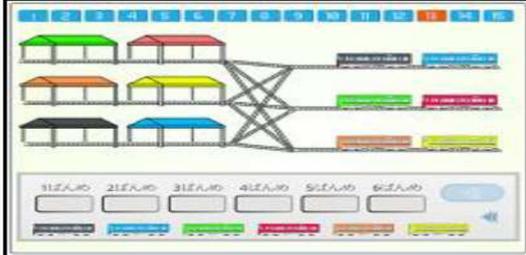
(文部科学省資料より抜粋)

➤ タブレットの表示変換機能【視覚障害】



タブレットの拡大機能、白黒反転機能、リフロー機能により、自分にとってもっと見やす状況を実現できる。

➤ 抽象的な事柄を視覚的に理解【知的障害】



視覚的に学べる教材により、算数での集合数と順序数の概念の違いといった抽象的な概念を理解することができる。

➤ 授業配信【病弱】



病院と同時双方向型の授業配信を行うことができる。クラウド内にある録画した授業を体調のよい時にオンデマンドで受講することができる。

➤ 授業中の発話を見える化【聴覚障害】



発話をテキスト変換することにより、授業のやり取りをタブレット等に表示することで視覚的に理解することができる。

➤ 補助具等の活用【肢体不自由】



スクリーンキーボード等の文字入力を支援する機器、ジョイスティック等のマウス操作を支援する機器、機能の一部をスイッチで支援する機器、支援する機器の支持機器等の活用

➤ 読み上げ機能の活用【発達障害】



文字を音読したり、黙読したりすることが苦手な児童生徒に対して、読み上げ機能の活用により内容理解の支援が可能

登校できない子どもへのICT活用の視点

○何らかの要因から登校しない、あるいはしたくてもできない状況にある児童生徒と学校との信頼関係づくり、社会的自立のための支援をより効果的に実現するため、心の居場所づくりハンドブック別冊「ICTを活用した支援について」を作成・発行

○主な内容

- ① ICTを活用した不登校児童生徒への支援についての基本的な考え方
- ② ICTを活用した支援に向けて
- ③ ICTを活用した居場所づくり
- ④ 支援事例の紹介
- ⑤ 実践校からのアドバイス

事例紹介（市立小学校4年生）

- ・不登校傾向のある児童（週1回程度の別室登校）。
- ・児童の教室とクラスの教室をWeb会議システムでつなぎ、授業や終わりの会に参加。
- ・支援の結果、週4日程度の別室登校ができるようになった。

終わりに（GIGAスクールで目指す教育の姿）

児童生徒の資質・能力の育成

「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善

個別学習で活用！



個別最適な学び

協働的な学び

協働学習で活用！



これまでの教育実践の蓄積

×

ICT

時間，場所，空間にとらわれず，あらゆる学習場面で活用にチャレンジ！

